

<報道発表資料>
(府・経済同時)

令和 8 年 2 月 2 日
きょうと生物多様性センター運営協議会
京都市環境政策局環境企画部環境保全創造課

「企業向けの生物多様性セミナー」の開催及び参加者募集

きょうと生物多様性センターでは、京都の伝統・文化や暮らしを支えてきた「京都の自然の恵み」を守り、次世代につないでいくため、様々な取組を展開しています。

世界では、令和 5 年 9 月に生物多様性に関する情報開示の枠組み (TNFD*) が公開され、金融機関等は投資する企業等に対して、事業活動の中に生物多様性への配慮を求めていく流れにあります。

こうした情勢を踏まえ、本セミナーでは、企業に求められる役割を知り、行動変容していただけるよう、専門家の講演、生物多様性保全に取り組んでいる企業の取組等の御紹介に加え、会場では登壇者や参加者を交えてグループディスカッションを行います。

以下のとおり、本セミナーに参加いただける企業の方を募集します。

* 金融機関や投資家の適切な投資判断のために、企業等における自然環境や生物多様性に関するリスク・機会の評価と開示を促す枠組み。

【開催概要】

●日時

令和 8 年 3 月 4 日 (水) 午後 3 時から午後 6 時まで

●会場

- (1) 京都経済センター3階 3-H 会議室
(〒600-8491 京都市下京区四条通室町東入函谷鉢町 78 番地)
- (2) オンライン
Youtube による限定配信 (詳細はオンライン参加申込者にのみお知らせします。)

●内容

- (1) 基調講演①

【テーマ】企業にネイチャーポジティブ経営を求める国際潮流の概要と自治体との連携の意義

【講演者】原口 真 氏 (MS&ADインシュアランスグループホールディングス(株)、TNFD タスクフォースメンバー)

東京大学農学系大学院修了 (農業生物学)。1996 年ブランクト・エンジニアリング企業勤務を経て、現職。環境省・次期生物多様性国家戦略研究会委員、国土交通省・グリーンインフラ官民連携プラットフォーム企画・広報部会幹事等を務める。



(2) 基調講演②

【テーマ】京都企業のネイチャー・ポジティブ

【講演者】足立 直樹 氏 ((株)レスポンスアビリティ代表取締役)

東京大学理学系大学院博士課程修了（植物生態学）、博士（理学）。国立環境研究所、マレーシア森林研究所(FRIM)を経て、現職。（一社）企業と生物多様性イニシアチブ(JBIB)理事・事務局長等を務める。



(3) 企業による事例紹介

【事例紹介①】日本新薬株式会社 山科植物資料館

生物多様性の恩恵を受ける製薬会社として、

有用植物・文化的植物（フタバアオイ等）の保全、

苗の増殖方法の研究、苗の提供や植物調査などを実施。OECM※としても注目される寺社林の植物調査を実施した事例等について紹介いただく。



※国立公園などの保護地域以外で生物多様性保全に資する区域のこと

【事例紹介②】株式会社島津製作所

OECM登録の「島津の森」での地域在来種の保護



や、京都文化の理解と継承、生物多様性の保全を進

め、科学技術を活用した土壌管理を実施。あわせて、2023年度から進めているTNFDに沿った情報開示についても紹介する。

(4) グループディスカッション（現地参加者のみ、オンライン配信なし）

基調講演の登壇者等がファシリテーターとなり、参加者の方が交流するためのグループディスカッションを実施します。各企業がより本質的に生物多様性保全の取組を推進し、事業を発展していくためのヒントとなるようなテーマを設けて、意見交換を行っていただきます。

●申込み

(1) 受付期間

令和8年2月3日(火)から2月18日(水)まで

(オンラインの申込みについては2月27日(金)まで)



二次元コード

(2) 申込方法

以下の申込フォームから申込み

<https://forms.gle/Gk2fTqjQohnsvPUU6>

(3) 定員

会場：30名程度※1（申込者多数の場合は抽選※2）

※1 会場参加の申込多数の場合は各社1名とさせていただきます。

※2 抽選の結果は、2月18日以降にメールで御連絡します。

オンライン：定員は設けませんので、3月2日以降にURLをお知らせします。

(4) 参加費

会場参加、オンライン参加いずれも無料

●運営等

- (1) 主催：きょうと生物多様性センター、京都府、京都市
- (2) 協力：三井住友海上火災保険(株)、MS & AD インターリスク総研(株)
- (3) 後援：京都商工会議所、京都工業会、環境省近畿地方環境事務所（予定）

<きょうと生物多様性センターの概要>

生物多様性に関する情報を正確かつ継続的に把握し、収集された知見を基に、生物多様性に係る理解促進や担い手育成、地域や企業の保全活動の支援等を行うとともに、保全に係る様々な主体の連携・協力関係を構築することを目的として、京都市と京都府との協働で設置し、運営しています。

<お問合せ先>

本事業に関するお問合せ先

きょうと生物多様性センター運営協議会

Eメール：contact@kyotobdc.jp

電話 話：075-744-1107

報道機関からのお問合せ先

京都市環境政策局環境企画部環境保全創造課

電話 話：075-222-3951